

渡辺淳一文学館ドラマティックライヴ

渡辺淳一 追悼朗読会

2014年に逝去するまで、文壇の第一線で活躍した渡辺淳一。
多彩な著作の中からいくつかの作品を取り上げ、朗読いたします。
昔からのファンの皆様にも、初めての方にも、魅力を感じていただく機会となれば、幸甚です。

『冬来る日』

デビュー以前に執筆され、未発表のまま
著者本人によって大切に保管されていた、
幻の短編小説。

朗読：鈴木 瑠以子

『かりそめ』

死の気配におののきつつも、
宿命に殉じようとする男と女。
著者が30年間、心に秘めた「哀切の物語」。

朗読：宮下 郁子

『老いかたレッスン』 番外編

年齢をとることは止められない。
身の衰えは自然の摂理。
でも、だからこそ、できることがある。
『孤舟』『エ・アロール』の名場面を折りこんだ、
特別番外編「老活術」。

朗読：林 浩子
関口 淳子
成田 英行
木村 功

2026年
4月18日(土)

開演 14:00
(開場13:30)

入場料
2,000円(要予約)

渡辺淳一文学館

TEL:011-551-1282

札幌市中央区南12条西6丁目414

主催：渡辺淳一文学館 後援：札幌市・札幌市教育委員会
企画：ドラマチック・リーディング・グループ「蔵」

渡辺淳一文学館ドラマティックライブ 渡辺淳一 追悼朗読会

渡辺 淳一

1933年北海道生まれ。医学博士。1958年札幌医科大学卒業後、母校の整形外科講師となり、医療のかたわら小説を執筆。

1970年「光と影」で直木賞を受賞。1980年に吉川英治文学賞を、2003年には菊池寛賞などを受賞する。

作品には初期の医学を題材としたものから、歴史、伝記的小説、男と女の本質に迫る恋愛小説と多彩で、医学的な人間認識をもとに、華麗な現代ロマンを描く作家として、晩年まで文壇の第一線で活躍した。

141冊に及ぶ著作を発表、1980年には文藝春秋社から渡辺淳一作品集全23巻を、さらに1995年には角川書店から渡辺淳一全集全24巻を刊行し、1997年2月刊行の「失楽園」（講談社）は、日本経済新聞に連載中から話題を呼び、300万部を突破。その題名は1997年の流行語大賞に選ばれた。



関回 淳子



鈴木 瑠以子



宮下 郁子



林 浩子



成田 英行
賛助出演



木村 功(俳優)
特別出演

ドラマチック・リーディング・グループ「蔵」KURA

2008年、日本文学（古典～現代文）をドラマチックな朗読で表現し、文学をより身近に楽しんで頂く事を目的とし結成。京都 平等院・清凉寺・東福寺では源氏物語を主に古典の朗読会を企画公演。カナダバンクーバーの日本人会では小泉八雲や現代作家の作品を読む会を企画公演。札幌での活動は2009年～2010年 女人源氏物語全6回シリーズ（全12話）を渡辺淳一文学館にて企画公演。2009年より札幌市中央図書館において「ろうどくの小径」朗読会を毎月開催中。教文演劇フェスティバル「舞台朗読への挑戦」2011年・2014年に出演。2011年～2019年 渡辺淳一文学館において渡辺作品を朗読する「花咲」に出演。2012年より北海道道立文学館主催 北海道文学を朗読する「北の響」に出演中。2017年 第6回「北の聲」アート特別賞 ハルニレ賞 受賞。更にドラマチックな朗読に挑戦。

【チケット取扱・ご予約・お問合せ】

■渡辺淳一文学館 月曜休館 但し、祝日の場合は翌平日休館

TEL : 011-551-1282

受付 : 9:30～17:00

Mail : info.watanabe.bungaku@ac.auone-net.jp

HP : <http://watanabe-museum.com/>



駐車場のご用意はございません。

公共交通機関か近隣の駐車場をご利用ください。

